

認定・可決・同意しました!

9月定例会は3日に開会し、10月4日に閉会しました。決算12、補正予算7、条例2、一般4、人事4の計29議案はすべて認定・可決・同意しました。また、総務、文教福祉、経済産業、建設環境の各常任委員会から平成23年度事務事業に係る評価報告書が提出され、すべての報告書を承認し、市長に提出することが決定しました。

今回の一般会計補正予算の総額は約27億4300万円、補正後の予算総額は約86億4600万円となり、前年度同期に比べ、4・1%の減となっています。

◎一般会計補正予算の主なもの

豪雨災害復旧経費

2億1545万円

6月豪雨及び7月豪雨に係る災害復旧経費です。

世界遺産登録推進事業

592万円

三重津海軍所跡の世界遺産登録に向けたPRに要する経費です。

過疎地域6次産業化施設整備支援事業

3258万円

三瀬地区における米粉の加工施設の整備に対する助成経費です。

農業用機械整備支援事業

7921万円

佐賀県農業協同組合が実施するみかん選別設備の整備に対する助成経費です。

森林整備地域活動支援推進事業

893万円

森林所有者等が実施する「森林経営計画」の策定に対する助成経費です。

住宅リフォーム緊急助成事業

4409万円

住宅の性能向上等のためのリフォーム工事に対する助成経費です。佐賀県の事業拡大に伴い4409万円に追加して1億8272万円の補正予算が提出されたものです。

道路維持補修経費・公園維持管理費

4200万円

さが桜マラソンのフルマラソンコースの補修等に要する経費です。

富士・富士南小学校合併関連経費

1588万円

路線バス待合所の整備等に要する経費です。

兵庫児童クラブ館整備事業

661万円

兵庫児童クラブ館の整備に要する経費です。平成25年度までに総額6971万円を限度として事業を実施します。

さが桜マラソン大会開催経費

389万円

本格的なマラソン大会として開催するさが桜マラソンの準備に要する経費です。

◎条例等の主なもの

佐賀市防災会議条例及び佐賀市災害対策本部条例の一部を改正する条例

災害対策基本法の一部改正等に伴い、防災対策の強化を図るため、佐賀市防災会議の所掌事務及び構成する委員の区分の見直しを行うものです。

財産の無償譲渡について

今年3月をもって廃止した「生きがいデイサービスセンターふじ」の建物を、富士地区における高齢者の福祉の向上に役立てるため、社会福祉法人健康寿会に無償で譲渡するものです。



補正予算など29議案を

議 案 質 疑

第88号議案 佐賀市防災会議条例及び佐賀市災害対策本部条例の一部を改正する条例

（質疑）改正内容と目的は。

（答弁）東日本大震災の教訓を生かし、災害対策の強化を図ることを目的に改正された災害対策基本法を受けて、この条例を改正した。

その主な改正内容は、
・防災会議委員に自主防災組織を構成する者や学識経験者の追加
・防災会議と災害対策本部の所掌事務の見直し

など。

（質疑）防災会議へ多様な意見をどう反映させるのか。
（答弁）自主防災組織の代表者、大学教授等の研究者のほか、ボランティア団体、高齢者及び障がい者の代表者等を委員に登用し、より幅広い意見を反映できる会議としたい。

（質疑）防災会議の委員数はふやすのか。また、関係団体からの委員についても、女性の参加を推進していくのか。

（答弁）増員になると考える。また、今回の条例改正の趣旨としては、女性を初めとする災害弱者の声を十分に反映することとしているので、クォータ制を念頭に置きながら対応していきたい。

第82号議案 佐賀市一般会計補正予算（第3号）中、世界遺産登録推進事業 592万円

（質疑）予算の内訳は。

（答弁）のぼり旗、マグネットシートなどのPRグッズ等の作成経費が約104万円。世界遺産登録に向けて、本市の取り組みをPRするラッピングバス2台の運行経費が約311万円。本庁、支所及び佐賀駅に設置するPR看板等の経費が約177万円。

（質疑）世界遺産の登録の動向は。

（答弁）世界遺産の登録数は世界全体で962件。その内訳は文化遺産745件、自然遺産188件、複合遺産29件。なお、国内の登録数は文化遺産12件、自然遺産4件で計16件。

（質疑）これまでPRに要した経費の総額は。

（答弁）世界遺産登録推進に係る市民啓発に要した経費は平成21年度から24年度までの4年間で約1246万円。これに加えて今回約592万円の補正予算を計上している。

（質疑）世界遺産の登録に当たって、市民へのPR等の意義は。

（答弁）世界遺産の登録審査に当たり、登録における評価ポイントの1つにその資産を適切に保護するための保存管理の仕組みが整えられているかどうかがある。

資産を永続的に保存するためには、国や自治体による法的な保護だけでなく、資産の近隣で生活する住民の日ごころからの取り組みがなければ維持することができない。このため、まず住民に知っていただき、それをきっかけに理解が深まれば、歴史資産に対する愛着や誇りも自然に育まれ、保存の取り組みにもつながっていくと考える。

こうした観点から、啓発活動は世界遺産の登録を進める上で大切な取り組みであると認識している。

（質疑）現時点で本市が文化遺産として位置づけているのは。

（答弁）築地反射炉跡、三重津海軍所跡、多布施反射炉跡及び精煉方跡の4つの資産のうち、佐賀市史跡は昭和42年に指定された築地反射炉跡のみである。

なお、三重津海軍所跡は世界遺産への登録手続として、国の史跡となることが前提条件となることから、現在、その手続を進めているところである。

「第48回天山祈念碑祭」に出席

天山の自然環境の保全及び登山客の安全を祈念して9月19日に開催され、佐賀市議会議員も出席しました。



「緑の募金活動」に参加

9月3日に街頭募金が実施され、佐賀市議会議員も佐賀市役所や佐賀駅バスセンターでの募金活動に参加しました。



総務

一般会計決算中、自主文化事業費補助事業1000万円について

〔質問〕自主文化事業の収支において、赤字は出ていないのか。

〔答弁〕平成23年度実績では、約1100万円の赤字額に対して1000万円を補助している。不足額は文化振興財団内部の資産で補填している。

文教福祉

一般会計決算中、地域改善対策事業費について

〔意見〕同和2団体への補助金について平成24年度は一定の整理を行ったようだが、本来、人権問題は、同和問題に特化せず、市が主体的に全体を視野に入れて取り組むべき。また、他の団体との関係から考えても、運営費の9割近くが補助金

〔意見〕人気の高い舞台などは多くの入場者が来るかと思うが、佐賀市の文化振興のために行う事業という視点で見ると必要がある。

〔意見〕文化振興財団の事業改善計画の進捗管理を十分にやってほしい。

同決算中、職員厚生会事務経費2679万円について

〔意見〕税金を投入して市職員の福利厚生に使う事業

常任委員会（決算議案審査）

という状況は見直しが必要。同決算中、私立保育園特別保育対策事業費について

〔質問〕地域子育て支援センター事業については、保育園からぜひ実施したいという声を聞く。利用者も増加傾向で双方のニーズが合致しており、今後拡充を検討すべきと思うが、どうか。

〔答弁〕現在、市として、各園が独自に行っている子

のため、当然、民間企業との状況などとの比較が必要。また、事業の実施状況を公開すべきであり、その妥当性についても検証していくべき。今後の見直しについては、随時進めていくことを求める。

同決算中、スクールゾーン路面標示62万円について

〔意見〕スクールゾーン路面標示は、標示による効果

育てサロン等の実施状況や利用状況については詳細には把握していないため、まずは調査を行いたい。

同決算中、小学校費及び中学校費の施設改修費について

〔質問〕各学校において小規模修繕契約希望者登録制度の周知はできているのか。

〔答弁〕年度当初に開催している各学校の事務長を集めた説明会で周知したい。

もかなり大きいと思われるため、事業の拡大等も含めて検討すべきである。



▶スクールゾーン路面標示

〔意見〕実際は、各学校で制度の登録業者を含め発注業者を決めているはずである。それを教育委員会として、しっかりと把握すべき。

同決算中、中部学校給食センター運営経費について

〔意見〕給食への異物混入については、本来はゼロが当然。絶対にゼロにするという強い姿勢で委託業者の指導に取り組んでほしい。

同決算中、交通安全指導員定数の偏在を早急に見直すべきと思うがどうか。

同決算中、交通安全指導員活動経費1651万円について

〔質問〕校区間の交通安全指導員定数の偏在を早急に見直すべきと思うがどうか。

〔答弁〕交通安全指導員の定数見直しについては、一定の期間が必要であるため、合併後10年をめどとして平成26年度までに検討し、平成27年度から新しい定数で配置することとなっている。

同決算中、社会教育推進事業の各種負担金補助金について

〔意見〕旧佐賀市の中で婦人会からの脱退が続出した理由として、上部団体の大会役員等多忙となり、単位としての婦人会活動に支障が出たことがある。その総括もせずに、残った団体にだけ補助を行うことは不公平。また、各校区で女性の会設立の動きがあり、実

見直しの際には、校区の人口や交通量、児童数などを考慮して検討したい。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。

〔同決算中、歳入全款については、文教福祉委員会、経済産業委員会、建設環境委員会の所管に関連することから、4常任委員会による連合審査会において審査を実施〕



際に立ち上がったところもある。そういう各校区の実態を把握して、補助金のあり方を考えるべきである。

〔審査結果〕第70号、第71号、第73号議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で認定すべきものと決定。

経済産業

一般会計決算中、地域
コミュニティマーケット支
援事業について

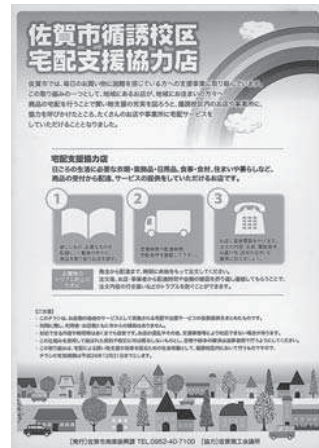
〔説明〕 食料品等の調達に
困窮している方への支援内
容を検討するため、買い物
弱者が多いと思われる循誘
校区において既存店舗を活
用した宅配チラシを作成し、
その効果を図るための実証
実験を行った。

〔質問〕 毎年異なる校区で

違つ内容の実証実験をされ
ているが、委託料の額が毎
年同額程度になっているの
はなぜか。

〔答弁〕 21年度は赤松校区
で店をつく
るというこ
とを行った。
22年度は日
新校区で軽
トラックに
よる移動販
売を行った。

委託内容は異なるが委託す
る量を調整した結果、毎年
同額程度の経費がかかって
いる。



宅配支援協力店チラシ

同決算中、観光客誘致
支援事業について

〔説明〕 佐賀市内の宿泊客
の増加を促進するため、会
議・大会等を佐賀市に誘致
し、その経費の一部を助成
した。

て、宿泊人数に応じて経費
の助成を行っている。最大
で延べ1000泊の社会人
の宿泊があった場合、40万
円の助成となっている。

賀県としては一定の効果が
あると考えている。
〔意見〕 クルマエビは有明
海では南のほうで収穫され、
佐賀などの北部ではあまり
収穫されないと聞く。4県
合同の事業とは言え、佐賀
市内の漁業者の漁獲量が上
がっているのかしつかり検
証していただきたい。

〔質問〕 自治体によつて補
助の内容が違つと聞いてい
る。佐賀市の助成の内容は
どのようなものか。

〔答弁〕 収穫量は市町村単
位では把握できないが、こ
数年増加傾向にあり、佐

〔審査結果〕 すべての議案
について、認定すべきもの
と決定。

常任委員会（決算議案審査）

建設環境

農業集落排水特別会計
決算中、農業集落排水
維持管理費について

〔質問〕 佐賀地区の下水へ
の接続率が極端に低いのが、
どのように考えているのか。
〔答弁〕 接続率の向上につ
いては、訪問、指導等によ
り徐々に成果が出てきてい
る。今後も積極的にその向
上に取り組んでいきたい。

一般会計決算中、清掃
工場運搬業務委託事業
2億7726万円につ
いて

会社で競争させれば委託額
が下がるのではないか。
〔答弁〕 安全運搬を第一に
考え、検討していきたい。

同決算中、河川水路占
用調査事業について

の補植や園路等の整備が必
要なのか。普段の手入れ等
に問題はないのか。
〔答弁〕 葉草園を市が公園
として管理するのは無理が
あった。今後は専門家の意
見を聞いて進めていきたい。

同決算中、葉隠発祥の
地維持管理事業につ
いて

00円が新たに必要になっ
た。

〔質問〕 委託先の職員人件
費が非常に高い。委託額を
下げる取り組みはしたのか。
〔答弁〕 平成22年度まで40
人体制だったものを、平成
23年度は38人体制で積算
し、1200万円ほど減額
した。

同決算中、市有施設バ
リアフリー整備事業に
ついて

障がい者団体によ
るチェックはしたのか。
〔答弁〕 改修後いかに使い
やすくなったかなどを確認
する必要があるため、今年
度中に実施したい。

〔質問〕 数年に1回、葉草

〔審査結果〕 すべての議案
について、認定すべきもの
と決定。

同決算中、金立公園整
備事業1897万円に
ついて

このため、葉草園に入るに
は、徐福長寿館の入館料3

〔質問〕 数年に1回、葉草

このため、葉草園に入るに
は、徐福長寿館の入館料3

このため、葉草園に入るに
は、徐福長寿館の入館料3